

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表						2018 年				
-------------------------	--	--	--	--	--	--------	--	--	--	--

法人名	かがやき長野	代表者	鈴木友子	法人・事業所の 特徴	「ひとりぼっちにならない、しない」をスローガンに持つ「長野県高齢者生活協同組合」を母体に持ち「地域のより所」を目指して設立しました。通い・訪問・宿泊、それぞれのサービスを馴染みのスタッフが行うことで、利用者に安心感を持ってもらうことが出来ます。また、利用者の都合による通いから訪問、訪問から泊まり等、サービスの変更依頼にも柔軟に対応して家族の負担を軽減します。
事業所名	かがやきの家笹部	管理者	石川真奈美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	4 人	人	人	1 人	1 人	1 人	人	人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	介護評価者（アセッサー）を事業所として配置する。 職員其々の研修計画の作成と内部、外部研修の確実な実施でレベルアップを図る。	アセッサー（後期）の受講計画を立てたが受講予定のスタッフの退職により実現できなかった。 実務者研修は 2 名受講。介護福祉士試験に挑戦。		アセッサーは今回は断念し、認知症実践者研修の 2 名受講を計画。
B. 事業所のしつらえ・環境	事業所内のイベント情報等、回覧板や新聞媒体も使いながら地域に発信していく。	高齢者生協の活動を笹部地区の回覧板に出させて頂いた。 事業所内のイベント等の発信は出来なかった。	施設での活動のお知らせは何度でも回覧板に載せても良い。 「鍵は掛けていない」という設問があるが、鍵は掛けるものなのか	外部から見て判るように看板を設置する。 「小規模多機能居宅介護」についての発信もしていく。
C. 事業所と地域のかかわり	サポーターキャラバンの地域での開催に積極的に協力していく。	スタッフ 3 名がキャラバンメイトの研修に参加することが出来た。	他の事業所からも 7 名受けている。 地域の文化展等に作品を出すなどしたらどうか	地域の防災訓練には引き続き参加する。 秋の文化展に利用者の作った作品を展示する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	職員の中から地域交流担当を配置し地域活動への参加を進める。	地域交流担当のスタッフを決め、そのスタッフを中心にオレンジカフェに参加することが出来た。 福祉広場の催しものを利用者に案内したが通う事は困難だった。	オレンジカフェについて、今後は各事業所の介護職員の関わりを強めていく。 笹部町会は今年から組名を変更した。地域の役員とも連絡を取り合っ て欲しい。	オレンジカフェ等地域活動への協力。 利用者の在宅支援の関わりのある地域資源を確認していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	家族の参加で在宅での様子を地域の方とともに確認していく機会を増やす。	ご家族に参加を促したが日中は仕事の方が多く、なかなか出席して頂けなかった。	家族から感謝の言葉等寄せられているか。事業所との関わりはちゃんと取れているのか。	出席できない家族には事前に意見を聞き運営推進会議に開示出来るように工夫していく。
F. 事業所の防災・災害対策	1 1 月に実施している地域の防災訓練に参加する。	笹部地区の防災訓練に利用者 2 名とともにスタッフが参加出来た。	町会には防災担当、防犯担当、消防団が配置されているので、何かあった時に助けてもらえるようにしておく。	災害時に備えて近隣事業所及び地域の役員との連絡網を作っておく。

○外部評価（地域かかわりシート①）は、A～Fまでの6項目となります

○項目Aについては「事業所自己評価」をお読みいただき、適当と思われる箇所に☑を記入ください。わかりにくい場合は、運営推進会議当日に事業者から説明がありますので、空欄のまま持参し、当日記入いただいても結構です。

○B～Fの項目については、当日までに下記チェック項目の適当と思われる箇所に☑を記入し、運営推進会議当日に持参してください。

○当日は、運営推進会議メンバーの記入したチェック箇所を集計しながら、ご意見をいただく予定です。

○下記チェックに基づき、当日お聞きしたい内容は、各項目の「できている点」「できていない点」「次回までの具体的な改善計画」の3点です。

○地域かかわりシートへの皆様のご意見は、事業所の質の向上につながり、皆様の地域にとって必要な拠点となるために大変重要です。事業所を育て、認知症になっても、介護が必要となっても、安心して暮らし続けることができる町をともにつくるために、ご理解、ご協力をお願いします。

A. 事業所自己評価の確認（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤スタッフ全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？ ※常勤とは週32時間以上勤務の職員（正規・嘱託・臨時職の別ではない）	7		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されて実施していることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい	7		
3	前回の改善計画に対して、具体的な取組みが行われていましたか？	6		1
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	6		

B. 事業所のしつらえ・環境（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ ----- 【前回の改善計画】 事業所内でのイベント情報等、回覧板や新聞媒体も使いながら地域に発信していく。	5		2
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	7		
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	7		
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	6		1
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	7		

C. 事業所と地域のかかわり（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ ----- 【前回の改善計画】 認知症サポーターキャラバンの地域での開催に事業所としても積極的に協力していく。	5		1
1	職員はあいさつできていますか？	7		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	5		2
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	3	1	3
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	7		

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ ----- 【前回の改善計画】 職員の中から地域交流担当を配置し地域活動への参加をすすめる。	5		1
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	3	2	1
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	4		3
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	5		2
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	3	1	3

E. 運営推進会議を活かした取組み（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ ----- 【前回の改善計画】 家族の参加で在宅での様子を地域の方とともに確認していく機会を増やす。	5		1
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	7		
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	5	1	1
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	7		
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	7		

F. 事業所の防災・災害対策（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ ----- 【前回の改善計画】 1 1 月に実施している地域の防災訓練に参加する。	5		1
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	2	1	2
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	4		3
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	2	5	
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	4		3

以上で終了です。ありがとうございました。